

芳賀 理永ホサナさん

福岡県
古賀竟成館高校出身

漠然としていた目標が
明確なものになった
造形短期大学部での出会い

当初、他の大学への進学を考えていましたが、特定の分野を目指していたわけではなく、ほんやりと「美術系の勉強をしたい」と思っていました。そんな頃、造形短期大学部の説明会で、興味がある授業を自由に体験できる独自のカリキュラムについて知り、そこに惹かれて進学を決めました。

高校ではデッサンをはじめ、アート関係を幅広く学びましたが、大学ではこれまで学べなかった科目に挑戦しようと、織や染色、パターンメイキングなど、「ファッション・テキスタイル」の科目を選択。こつこつと作業を進めるにつれ、少しずつ形になっていく様に心躍らされ、また自身も少しずつ技術が上達していく実感を得られ、達成感を味わえる楽しい日々を過ごすことができました。

卒業研究は、織を選びました。平織の布で名刺入れや判子入れを制作。造形短期大学部での学生生活は、毎日が発見の連続。とても色鮮やかで、たくさん色が混ざり合った2年間でした。そんな私が過ごした貴重な時間を織で表現できればと考え、将来の目標は「織り子」です。1年次は漠然と思っていたことが大学での学びを経て、今では「日本の伝統を受け継ぎ、後世に遺したい」と覚悟できるほどになりました。さまざまな授業での体験を通して、明確な目標をもつことができた私。造形短期大学部に入学して本当に良かったなと感じています。



●織B 「テーブルセンター」



●織A・織B 「マフラー」



●テキスタイルデザイン基礎 「藍染」